

いばらきネットモニター 県政への要望・生活意識に関するアンケート結果

1 調査目的

このアンケートは、県民等の県政に対する関心、要望や、生活意識などをとらえ、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために実施しました。

2 結果の概要

・県の行政全般について力を入れてほしい分野は、「地域保健・医療・福祉」が最も高く、次いで「生活インフラの整備、地域コミュニティ強化」、「雇用の創出」であった。

・現在の暮らし向きについては、「十分満足している」と「十分とはいえないが一応満足している」を合わせた「満足している」が56.9%で、過半数を占めた。

・昨年と比べた暮らし向きについては、「少し苦しくなった」と「とても苦しくなった」を合わせた「苦しくなった」が52.7%で、過半数を占めた。

・日々の暮らしにおける不安や不満は、「物価高」が最も高く、次いで「地域の治安」、「資産形成・老後の資金」であった。

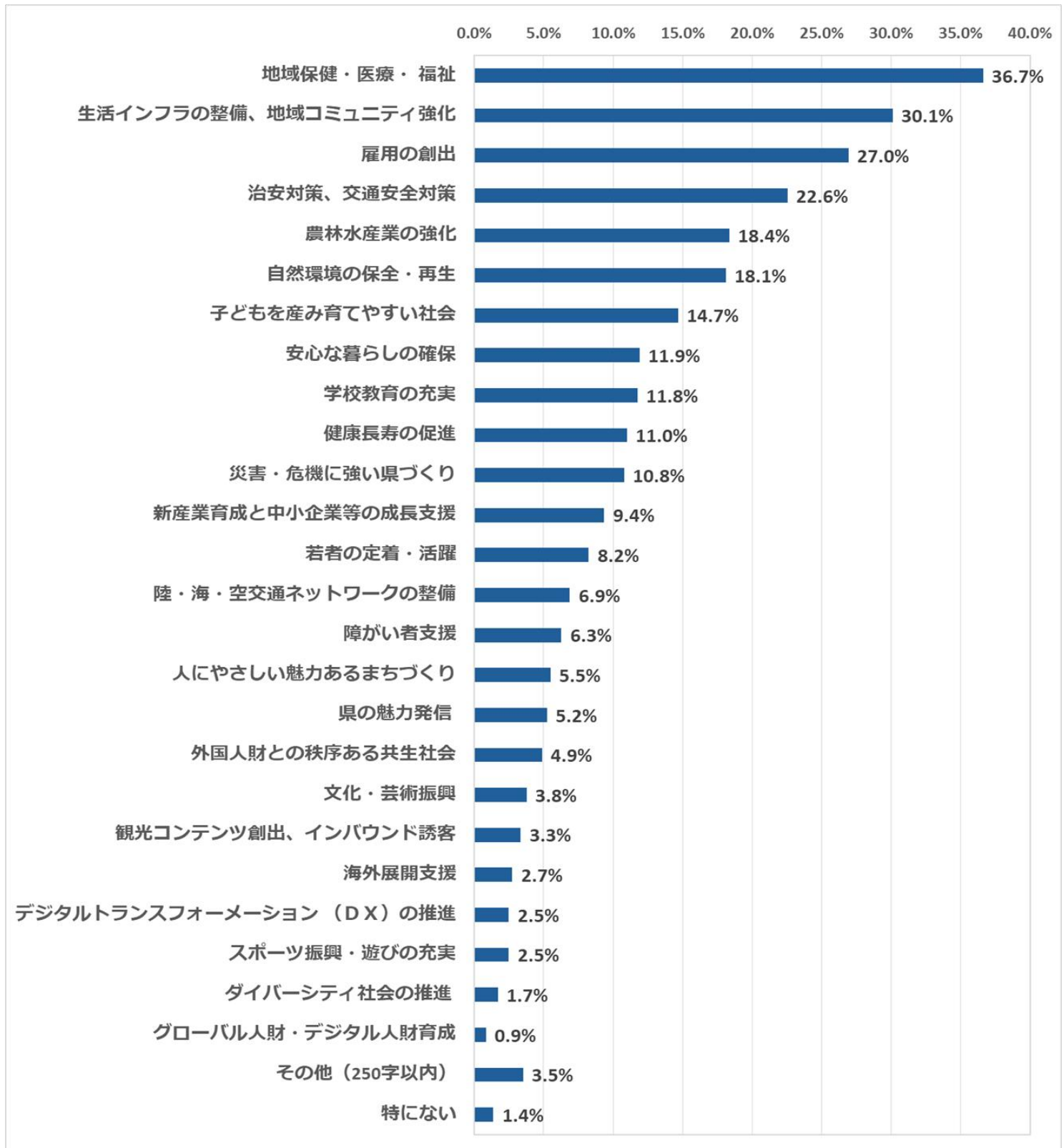
・日々の暮らしで満足していることは、「自然・気候・住環境」が最も高く、次いで「平穏・安心・安全」、「衣食住・生活維持」であった。

・県の政策広報については、「いずれも見たことはない」が64.0%を占めた。見たことがある政策広報では、「いばらき県政レポート（YouTube等）」が最も高かった。

【問1】（県政への要望）

あなたは、県の行政全般について考えた場合、どのような面に力を入れてほしいと思いますか。
次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=1,165)



（回答者数を母数として計算しているため、各項目の合計は 100% とならない）

- 県の行政全般について力を入れてほしい分野としては、「地域保健・医療・福祉」(36.7%)が最も高く、次いで「生活インフラの整備、地域コミュニティ強化」(30.1%)、「雇用の創出」(27.0%)となった。

このほか、「治安対策、交通安全対策」(22.6%)、「農林水産業の強化」(18.4%)、「自然環境の保全・再生」(18.1%)が上位となった。

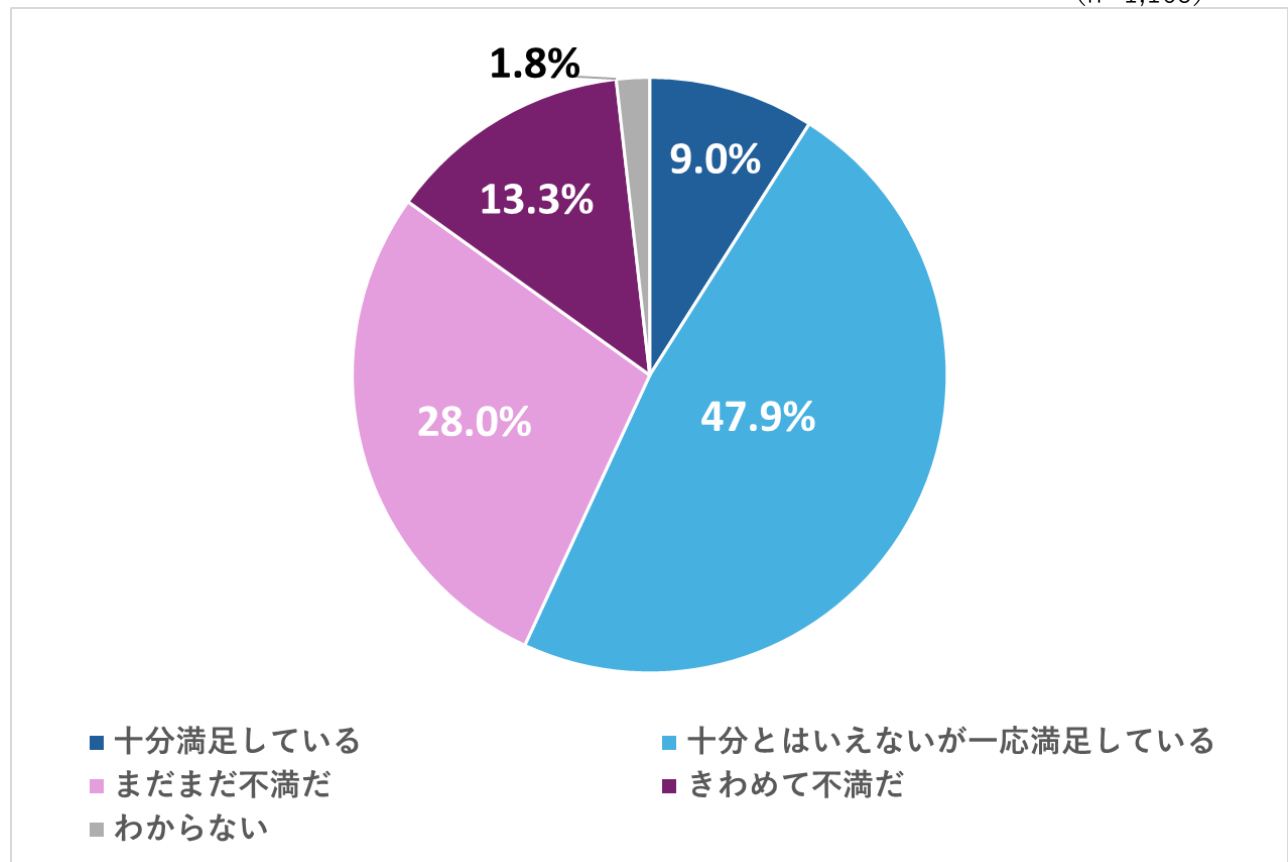
- 「その他」(3.5%)として、次のような意見が挙げられた。(計 41 件)

- ・ 高齢者向けの生活支援
- ・ 長期的な治療に対応できる医療体制の整備
- ・ プレコンセプションケアなど、若い世代の意識や行動の変化を促す少子化対策

【問 2】（暮らし向きの満足度）

あなたは、現在の暮らし向き（家計の状態）についてどの程度満足していますか。
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,165)

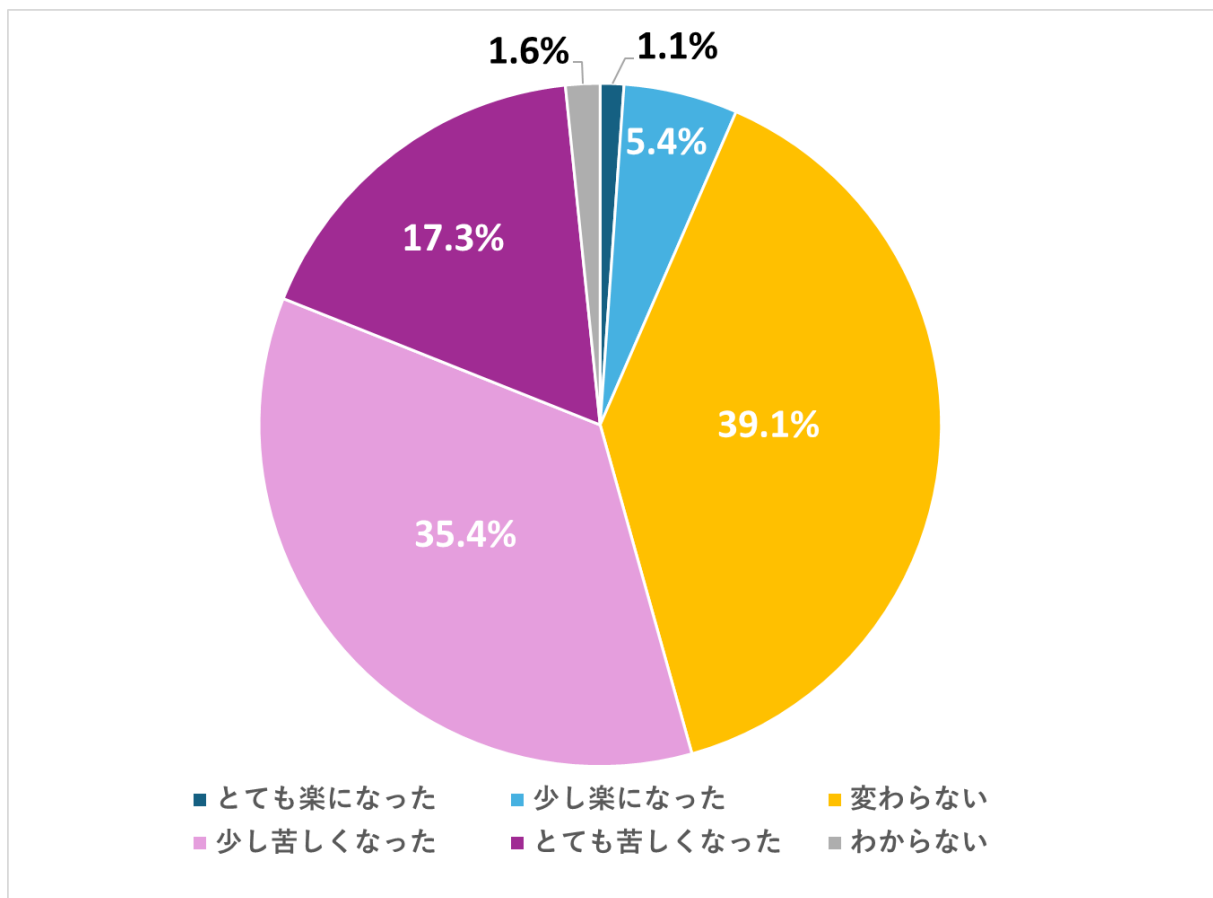


- 現在の暮らし向きについて、「十分満足している」（9.0％）と「十分とはいえないが一応満足している」（47.9％）を合わせた「満足している」は 56.9％で、過半数を占めた。

【問3】（暮らし向きの変化）

あなたの暮らし向き（家計の状態）は、昨年の今ごろに比べて変化はありましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,165)



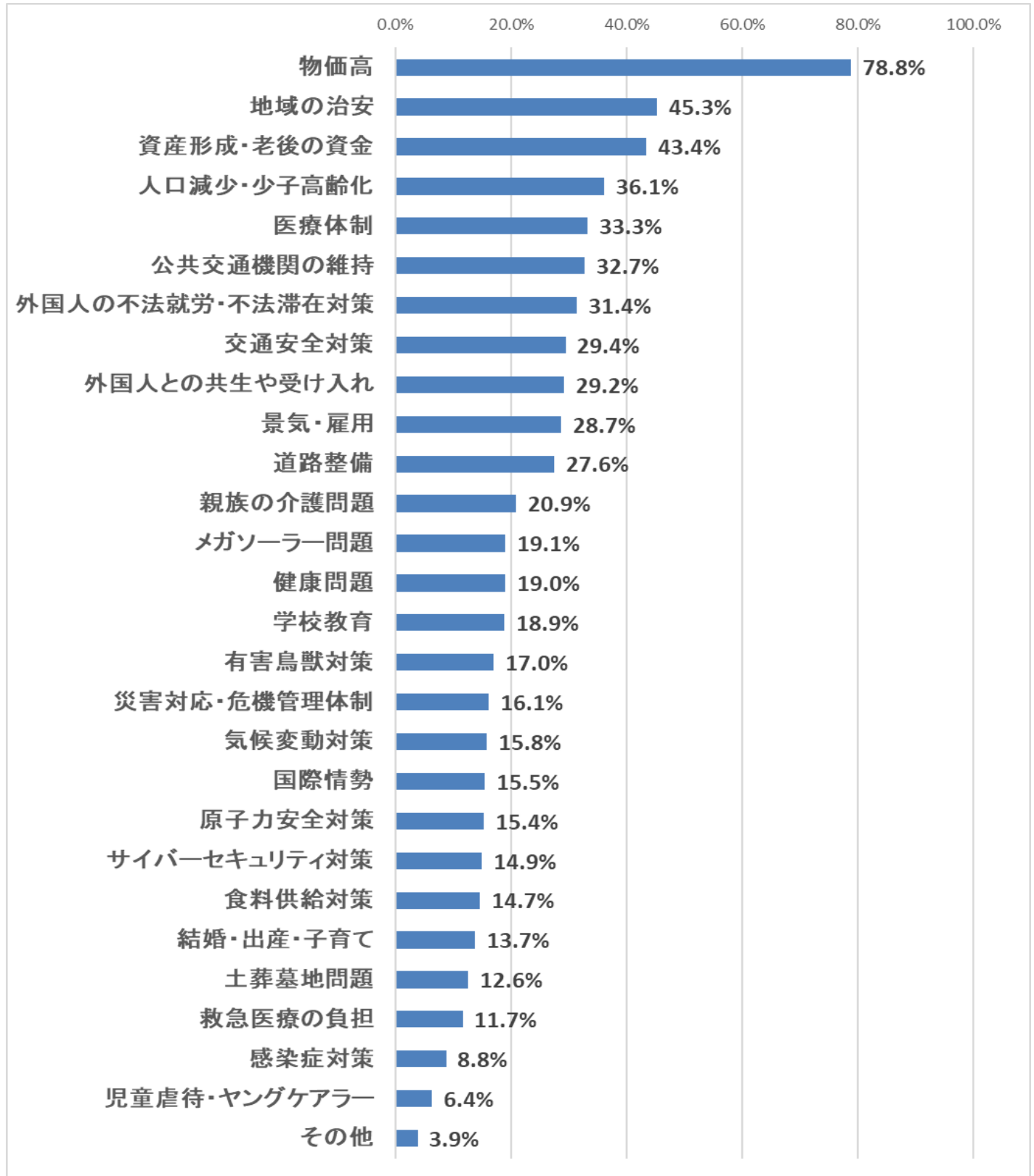
- 暮らし向きの変化について、「変わらない」（39.1％）が最も高かった。一方、「少し苦しくなった」（35.4％）と「とても苦しくなった」（17.3％）を合わせた「苦しくなった」割合は52.7％となり、過半数を占めた。

【問 4】（暮らしにおける不安や不満）

あなたが、日々の暮らしについて、不安や不満に思うことはどのようなことでしょうか。
次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

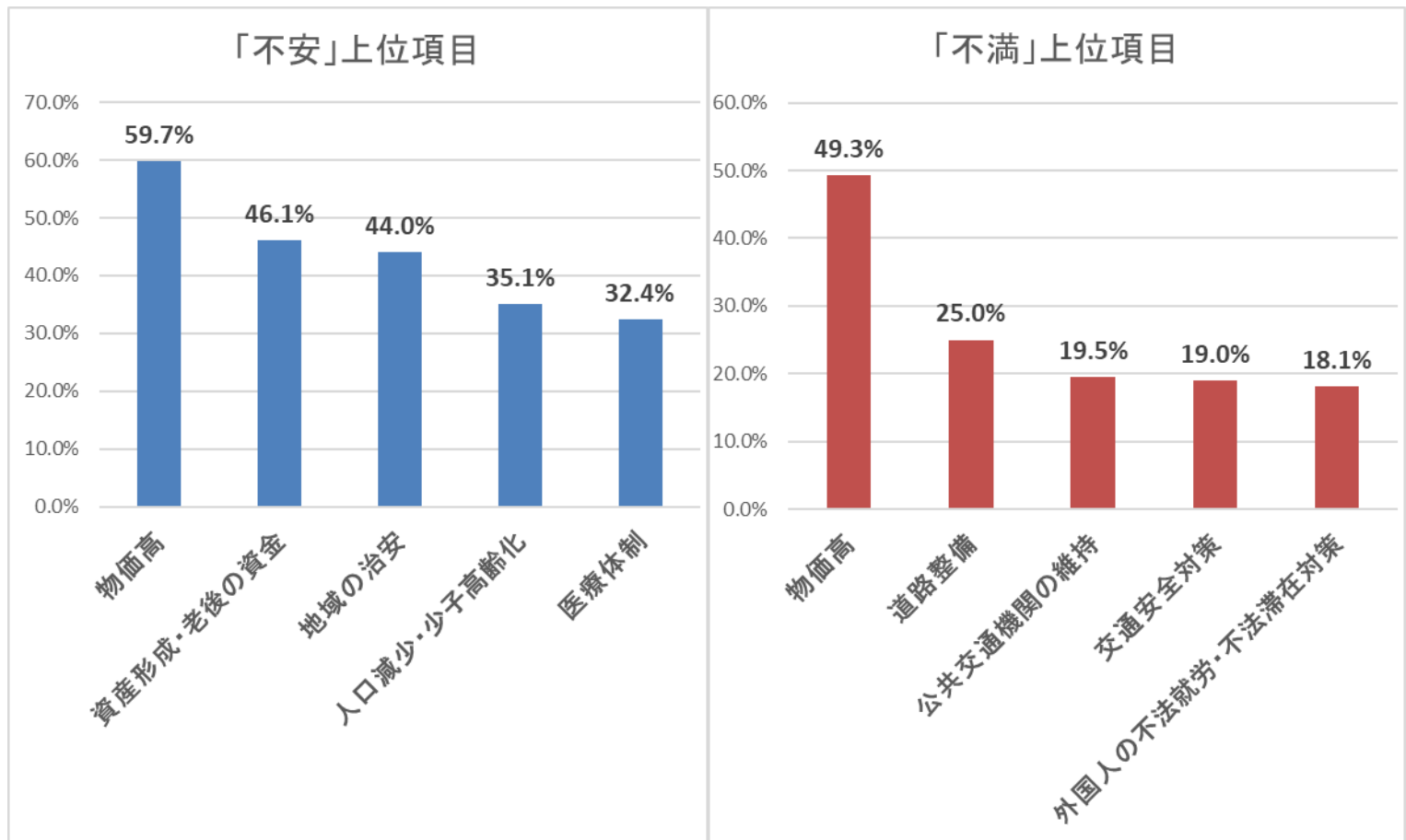
選択された項目については、その下の回答欄に「不安」か「不満」または「両方」のいずれか
をご記入ください。さらにその理由やご意見などがございましたらお聞かせください。

(n=1,165)



(※回答者数を母数としているため、各項目の合計は 100.0%にならない。)

(n=937)



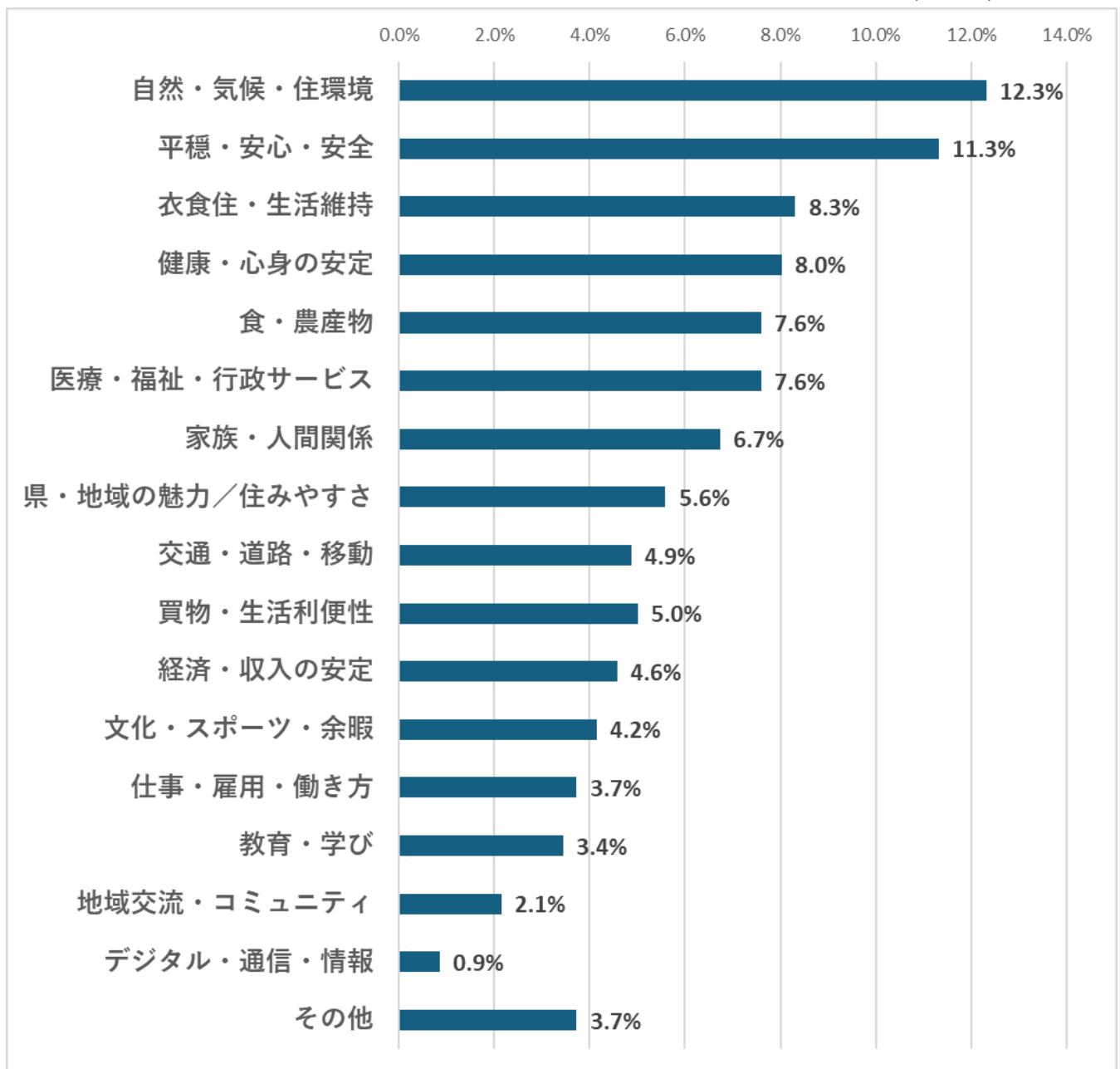
(※回答者数を母数としているため、各項目の合計は 100.0%にならない。)

「両方」と回答されたものは、「不安」と「不満」のそれぞれに計上している。)

- 日々の暮らしについて不安や不満を感じる項目としては、「物価高」(78.8%)が最も高く、次いで「地域の治安」(45.3%)、「資産形成・老後の資金」(43.4%)、「人口減少・少子高齢化」(36.1%)、「医療体制」(33.3%)となった。
- 「不安」を感じる項目としては、「物価高」(59.7%)が最も高く、次いで「資産形成・老後の資金」(46.1%)、「地域の治安」(44.0%)、「人口減少・少子高齢化」(35.1%)、「医療体制」(32.4%)となった。一方、「不満」を感じる項目としては、「物価高」(49.3%)が最も高く、次いで「道路整備」(25.0%)、「公共交通機関の維持」(19.5%)、「交通安全対策」(19.0%)、「外国人の不法就労・不法滞在対策」(18.1%)となった。
- 「その他」(3.9%)として、次のような意見が挙げられた。(計 45 件)
 - ・ 県西や鹿行地域の振興や、地域の文化・伝統を生かした県の魅力発信を強化してほしい
 - ・ 畜産分野におけるアニマルウェルフェアの遅れ
 - ・ 教員のなり手不足と教員確保に向けた待遇改善

【問 5】日々の暮らしについて、満足していることがございましたら教えてください。
特にない場合には「特になし」とお書きください。（250 字以内）

(n=698)



○ 日々の暮らしについて満足していることとしては、「自然・気候・住環境」（12.3％）が最も高く、次いで「平穏・安心・安全」（11.3％）、「衣食住・生活維持」（8.3％）、「健康・心身の安定」（8.0％）、「食・農産物」（7.6％）となった。

○ 「自然・気候・住環境」（12.3％）に関する意見として、自然と都市の利便性のバランスや都心へのアクセスの良さ、災害が比較的少ないことなどが多く挙げられた。

○ 「その他」（3.7％）として、次のような意見が挙げられた。（計 26 件）

- ・都道府県別の実質賃金が高い
- ・テレビや SNS で茨城に関する情報を目にする機会が増えた
- ・以前よりも治安が改善されている

【問 6】

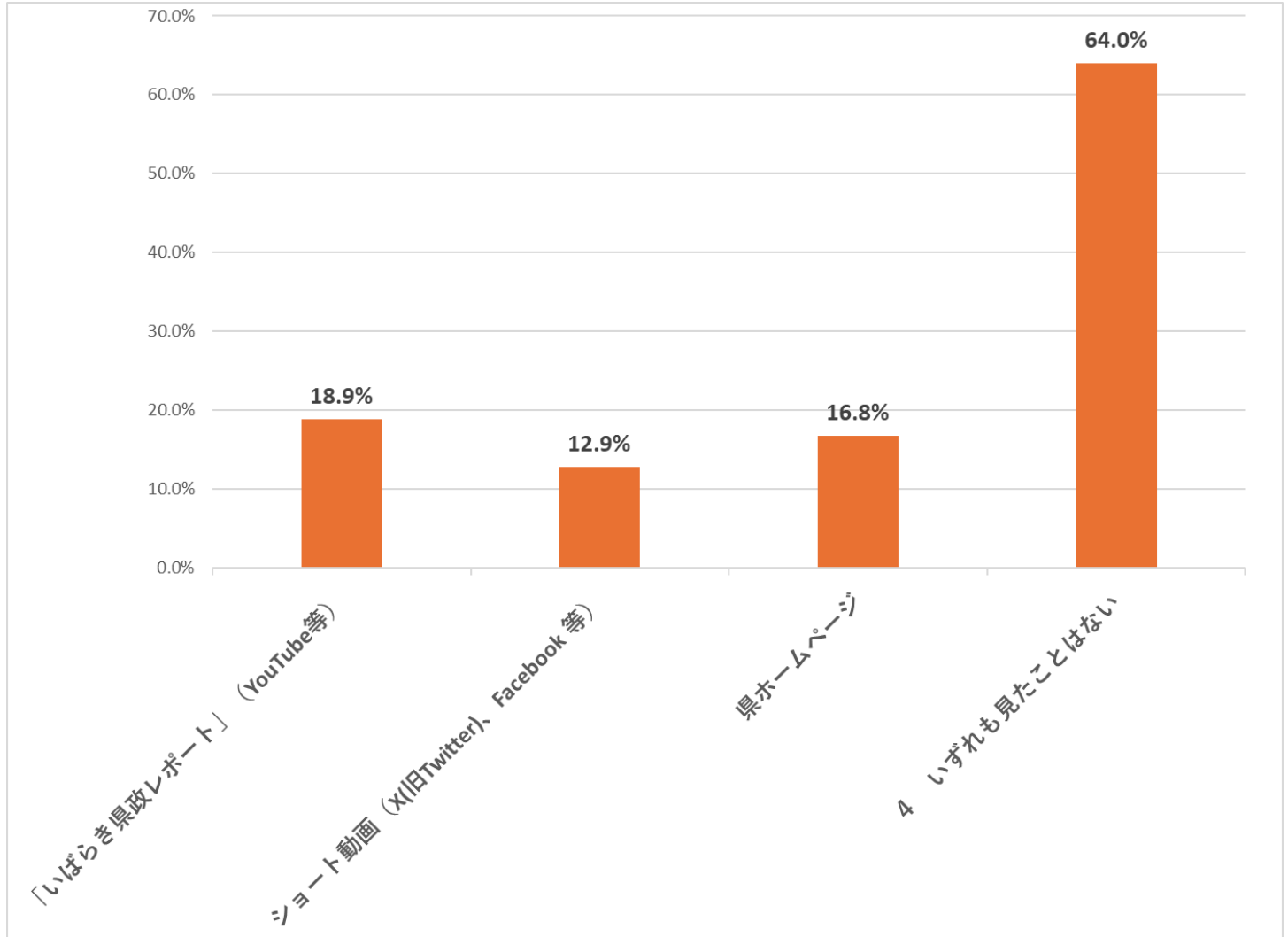
（県の政策広報の認知度）

あなたは、茨城県が発信している以下の政策広報（※）をご覧になったことがありますか。

あてはまるものを全て選んでください。

※<https://www.pref.ibaraki.jp/shiru/annai/seisaku.html>

(n=1,165)



- 県が発信している政策広報のうち、見たことがあるものとしては、「いばらき県政レポート（YouTube 等）」（18.9％）が最も高く、次いで「県ホームページ」（16.8％）、「ショート動画（県公式 X、Facebook 等）」（12.9％）となった。一方、「いずれも見たことはない」は 64.0％であった。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- 県民等の県政に対する関心や要望、生活意識などの結果について、今後の施策や事業を検討する際の基礎資料として、関係部局と共有する。
- 県の政策広報については、既存媒体の周知を強化するとともに、より多くの県民に対し、県の施策等を分かりやすく届けられるよう、内容を充実させていく。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調 査 時 期：2026 年 6 月 17 日 ～ 2026 年 6 月 30 日

調 査 方 法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モ ニ タ ー 数：1,692 名

回 収 率：68.9%

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（%）
全体（n）		1,165	100.0
地域別	県北	91	7.8
	県央	371	31.8
	鹿行	66	5.7
	県南	371	31.8
	県西	79	6.8
	県外	187	16.1
性別	男性	505	43.3
	女性	660	56.7
年齢別	16～19 歳	6	0.5
	20～29 歳	43	3.7
	30～39 歳	143	12.3
	40～49 歳	287	24.6
	50～59 歳	330	28.3
	60～69 歳	230	19.7
	70 歳以上	126	10.8
職業別	自営業	87	7.5
	会社員	445	38.2
	団体職員	54	4.6
	公務員	54	4.6
	主婦・主夫	238	20.4
	学生	18	1.5
	無職	136	11.7
	その他	133	11.4

(2) 担当課

茨城県総務部知事公室 広報広聴課

電話：029-301-2140

E-mail：kocho@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第 2 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。